製造販売届出番号: 26B1X10019102115

機械器具(58)整形用機械器具

一般医療機器 歯科インプラント技工用器材(ドライバ及び抜出器) JMDN コード:70757000(11345000)

FINESIA 印象採得用器具

【形状・構造及び原理等】

- (1) 本製品は、FINESIAインプラントシステムの専用器 具である。口腔内を間接印象採得する際に使用するパーツ である。
- (2) サイズ等については外装の表示ラベルに記載されている。
- (3) 形状・材質は下記の通り。
- 1)BL インプレッションポスト

BL インプレッションポストには、BL インプレッションポストスクリューが同梱されている。

一般的名称:歯科インプラント技工用器材		
製品名	外観	材質
BL インプレッション ポスト FBL-I POST		チタン合金
BL インプレッション ポストスクリュー FBL-IP SCREW		チタン合金

2)BL トランスファーCOP

BL トランスファーCOP(ST 又は R)には、BL トランスファー COP スクリューS 及び BL トランスファーCOP スクリューL が同梱されている。

円性ですべている。			
一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名	外観	材質	
BL トランスファー COP FBL-T COP	ST R (単冠用) (連冠用)	チタン合金	
BL トランスファー COP スクリュー FBL-TC SCREW		チタン合金	

3)BL SPインプレッションポスト

BL SP インプレッションポスト(ST 又は R)には、BL SP インプレッションポストスクリューが同梱されている。

<u>~ / / / / d d ~ m / f / / / </u>	クユ が同梱され	C 4 . Ø .	
一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名 外観 材質			
BL SP インプレッション ポスト FBL-SP I POST	ST R (単冠用) (連冠用)	ステンレス鋼	
BL SP インプレッション ポストスクリュー FBL-SP IP SCREW		ステンレス鋼	

4)BL SP トランスファーCOP

BL SP トランスファーCOP(ST 又は R)には、BL SP トランスファーCOP スクリューが同梱されている。

一般的名称:歯科インプラント技工用器材		
製品名	外観	材質
BL SP トランスファー COP FBL-SP T COP	ST R (単冠用)(連冠用)	ステンレス鋼
BL SP トランスファー COP スクリュー FBL-SP TC SCREW	HAT	ステンレス鋼

5)TL インプレッションポスト

TL インプレッションポストには、TL インプレッションポストスクリューが同梱されている。

1 2 2 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1			
一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名 外観 材質			
TL インプレッション ポスト FTL-I POST		チタン合金	
TL インプレッション ポストスクリュー FTL-IP SCREW		ステンレス鋼	

6)TL トランスファーCOP

TL トランスファー $COP(ST \ \ Zt \ \ R)$ には、TL トランスファー $COP \ \ ZO \ \ Juu-L \ \ M$ 同梱されている。

一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名	外観	材質	
TLトランスファー COP FTL-T COP	ST R (単冠用) (連冠用)	チタン合金	
TL トランスファー COP スクリュー FTL-TC SCREW		ステンレス鋼	

7) TL SP インプレッションポスト

TL SP インプレッションポスト(ST 又は R)には、TL SP インプレッションポストスクリューが同梱されている。

ンプレッションホストスクリューが同梱されている。			
一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名	外観 材質		
TL SP インプレッション ポスト FTL-SP I POST	ST R (単冠用) (連冠用)	チタン合金	
TL SP インプレッション ポストスクリュー FTL-SP IP SCREW		ステンレス鋼	

8) TL SP トランスファーCOP

TL SP トランスファーCOP(ST 又は R)には、TL SP トランスファーCOP スクリューが同梱されている。

27 001 7.7 7 2 % NAME (10 CV 3)			
一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名	外観	材質	
TL SP トランスファー COP FTL-SP T COP	ST R (単冠用) (連冠用)	チタン合金	
TL SP トランスファー COP スクリュー FTL-SP TC SCREW		ステンレス鋼	

9) インプレッションキャップ

一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名 外観 材質			
インプレッション キャップ F-IMPRESSION CAP		PP (ポリプロプ レン)	

10) ダイレクトアバットメントインプレッションキャップ

一般的名称:歯科インプラント技工用器材			
製品名	外観	材質	
ダイレクトアバットメ ントインプレッション キャップ DICAP	BL TL	POM (ポリオキシ メチレン)	

11)スキャンボディ

一般的名称:歯科インプラ	ント技工月	用器材	
製品名	外	·観	材質
スキャンボディ SCANBODY	BL	TL	PEEK (ポリエーテ
S Pスキャンボディ SP SCANBODY	BL	TL	ルエーテルケ トン)

12) インプレッションドライバー

一般的名称:ドライバ及び抜出器			
製品名 外観 材質			
インプレッション ドライバー F-IMPRESSIONDRIVER		ステンレス鋼	

〈原理等〉

本製品は上部構造の作製のために行う印象採得時に使用される。

【使用目的又は効果】

本製品の「歯科インプラント技工用器材」は、歯科用インプラントの上部構造を作製するために用いる歯科技工用の器具・材料である。

本製品の「ドライバ及び抜出器」は、外科手術時にピン、ネジ又は器具等を挿入又は除去する場合に組み合わせて用いる手 術器具である。

【使用方法等】

本製品は未滅菌であり、洗浄及び滅菌してから使用する。

本製品の滅菌は、高圧蒸気法(オートクレーブ)が可能である。オートクレーブ滅菌を行う場合は、以下の条件で滅菌することができる。各施設において器具類の滅菌に関する適切に有効性がバリデートされた滅菌プロセスであれば、本条件と異なった滅菌を行うことも可能である。

<滅菌条件例>

(第 16 改正日本薬局方 参考情報 微生物殺滅法 2.滅菌法 2.1.加熱法の高圧蒸気法による)

121~124℃:15分間 又は 126~129℃:10分間

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- (1) 詳しい使用方法については、取扱説明書 (FINESIA マニュアル)を参照すること。
- (2) 本製品には専用器具が用意されている。他パーツとの組み 合わせ等の際には、専用器具を使用する。
- (3) 本器具の使用前・使用後には、適切なメインテナンスを行うこと。(【保守・点検に係る事項】の項参照)[メインテナンスが適切でないと、器具の性能が早期に低下したり、さびが発生したりすることがある。]
- (4) スキャンボディをフィクスチャーまたはアナログに固定する場合は、ラボスクリューを一度に締め込まず、サイズ等を確認しながら徐々に締めつけるようにすること。この際、底面の回旋防止部の嵌合位置がずれたり、過度の締め付けトルクを与えると損傷をきたす事があるため、操作に十分に注意すること。

【使用上の注意】

不具合・有害事象

重大な不具合

器具の強度を上まわる過大な側方圧やねじり応力が加わった場合、器具が変形したり破折したりする恐れがある。

【保守・点検に係る事項】

本器具は下記要領にて取り扱うことを推奨する。

(1) 術中の器具の取り扱い

使用した本器具は、滅菌精製水や注射用水の入ったシャーレ等の中にいれ、乾燥させないようにすること。

(2) 使用後の取り扱い手順と注意事項

 作業者は、手袋・エプロン・マスク・ゴーグルを着用すること。 2)流水による洗浄 血液などの目に見える。汚れを、流水下でやわらかいブラシ等で落とすこと。 3)洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音波洗浄を5分以上行うこと。 ・ 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音波洗浄の温度、 (次清シルーの表別のでは、 (次清シルーの表別のでは、 (次流のでは、 (次のでは、 (ないのでは、 (ないのでは、	使用後の取り扱い手順と注意事	^
 作業者は、手袋・エプロン・マスク・ゴーグルを着用すること。 流水による洗浄血液などの目に見える。汚れを、流水下でやわらかいブラシ等で落とすこと。 洗浄剤洗浄酵素洗浄剤を用い超音波洗浄を5分以上行うこと。 洗浄剤洗浄酵素洗浄剤を用い超音波洗浄の温度の一指示に従合む消力とと。 ・ 洗浄剤の濃度、温度、時の濃度、温度カーの指示に従うこれ。本など)は使用しないが消毒力系に注意からいれる。同士が接触しないように注意すること。 ・ 塩素酸ナトリヘインジザ酸いこと。「錆が発生する恐れがある具目が接触しないように注意すること。 () おり立れで水分を拭き取り、充分乾燥させること。 () 手術日が近い場合 滅菌(人) 清楽な場所に保管すること。(②手術日が長期間でく場合清潔な場所に保管すること。(②手術日が長期間でく場合清潔な場所に保管すること。(次) 使用前に滅菌すること。) ・ 滅菌バッグは紫外線を使管が劣化ですること。(変) 手術日が長期間でく場合清潔な場所に保管すること。(変) 手術日が長期間でく場合清潔な場所に保管すること。(変) 手術日が長期間でく場合清潔な場所に保管すること。(変) ・ 減菌が少が等にある等) は再減菌を必ずが多る。] ・ 減菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。 	手順	注意事項
ロン・マスク・ゴーグルを着用すること。 2) 流水による洗浄 血液などの目に見える 汚れを、流水下でやわらかいブラシ等で落とすこと。 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音波洗浄を5分以上行うこと。 と。 3) 洗浄剤洗浄 ・ 洗浄剤の濃度、温度、時の濃度、メーカーに変が過剰できること。 (次消毒の温度、メーカーに変が過剰できる。)・ 塩素酸ナトルへに、対理を関しないが、 塩素酸ナルルの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールの塩・ボールのは、・ 器具同士が接触しないよっに注意すること。 (を質しますること。)・ に、	1) 準備	作業に応じて手袋等を交
 を着用すること。 ② 流水による洗浄 血液などの目に見える 汚れを、流水下でやわらかいブラシ等で落とすこと。 ③ 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音波洗浄を 5 分以上行うこと。 ・ 塩素酸ナールの濃度、メーカの温度、メーカの高いが変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が変化が	作業者は、手袋・エプ	換すること。[再汚染の恐
 記がによる洗浄 血液などの目に見える。	ロン・マスク・ゴーグル	れがある。]
 流水による洗浄 血液などの目に見える。汚れを、流水で落とすこと。 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 洗浄剤洗浄 が洗浄を 5 分以上行うこと。 ・ 洗浄剤洗浄 が調素 2 は に 表でとった。 ・ 洗浄剤洗浄 が は 使用している場合は再度、3)からやり直すと。 ・ 数操 不 等のやわらかれ 布で操きせること。 (2)手術日が近い場合 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 (2)手術日が近い場合 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 (3)手術では、 で が 劣化する で が 劣化する で で で が 劣化する で で で が 劣化 で で で が 劣化する。 こ で で が 劣化 する。 こ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を着用すること。	
血液などの目に見える 汚れを、流水下で率わら かいブラシ等で落とすこと。 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 と。 - 洗浄剤の濃度、温度、時間 間に洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 - 塩素酸ロルペキンジル 塩素酸ロルペキンジル強調を生する恐れがある。] - 器具に意すること。 (2) 汚れが残存している場合 は再度、3) からやり直す こと。 (3) が発生すること。 (4) 水洗 (1) 精製水を用い超音波洗浄 を行うこと。 (2) 汚れが残存している場合 は再度、3) からやり直す こと。 (2) 汚れが近い場合 減菌後、清潔な場所に保管すること。 (3) 手術日が近い場合 減菌後、清潔な場所に保管すること。 (4) 保管 (1) 手術日が近い場合 減菌後、清潔な場所に保管すること。 (5) 保管 (1) 手術日が近り等に入れて 減菌後、清潔な場所に保管すること。 (2) 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。 (3) 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。 (4) 上にさる。 「洗染される可能性にさら る。] - 汚染される可能性にさら る。] - 汚染されるの再滅的恐れがある。 こと。(次回、使用前に滅菌すること。) - 汚染されるの再減を発すること。 (5) に注意すること。 (6) に対策外線を使管があると。 (7) に対策が多化するのでは、対策を対策を対策を対象がある。 に対すること。 (6) に対策がある。 こと。 「洗染される可能性にさら はれるとのでは、対策を対策を対象がある。」 - 汚染されるの可能性にさら はれると、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には		金属製のブラシは使用し
 汚れを、流水下で率とすこと。 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 ・ 洗浄剤の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、温度、内の濃度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、乳油、上の温度、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水流、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、水油、	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
おいブラシ等で落とすこと。 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 と。 ・塩素を含む消毒カム系ジンル 塩素酸ナトリウキシジザル酸性 水など 1 大海 1 大海 1 大海 2 大海 1 大海 1 大海 2 大海 2 大海		/4V ·C C o
と。 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。 と。 ・塩素を含む消毒カムシジガル強いなど)は塩素をサロルへにベ消シスコ性 水など)は使用しないが発生すること。 ・塩素を行うこと。 ② 汚れが残存している場合 は再度、3) からやり直すこと。 ② 汚れが残存している場合 は再度、3) からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい 布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・満ないがある等)は再減菌がある等)は再減菌がある等)は再減菌がある方と。に対している場合では対している。。 ③ 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・満ないが、方等に対しているに対しているので、対している。に対している場合では関すること。 「洗染されるので、ないで、ないがある。」 ・ 滅菌バッグ等の別封後は速やかに使用すること。		
 3) 洗浄剤洗浄 酵素洗浄剤を用い超音 波洗浄を 5 分以上行うこと。と。 と。 ・ 洗浄剤の濃度、・ 洗浄剤の濃度、・ 温度、・ の濃度、・ の濃度、・ の濃度、・ の濃度・ のの濃度・ の変換を ののの濃度・ のの濃度・ のの温度・ のの温度・ のの温度・ のの温度・ のの温度・ のの温度・ ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のので		
では、		
 被洗浄を 5 分以上行うこと。 と。 指示に従うこと。 塩素を含む消毒剤(次番剤 系)が調毒剤/塩化ベンザル 強酸 は使用しないよった。 (1) 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 (2) 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直立と。 (3) がらやり直立と。 (4) 水洗 ① 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 ② 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直立と。 (5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 (6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 (2) 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。 (2) 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。 (次回、使用前に滅菌すること。) ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。 	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
と。		
塩素酸ナトリウム系消毒 剤/クロルへキシジンル		
利/クロルへキシジン系 消毒剤/塩化ベンザルコニウム系消毒剤/強化ベンザルコニウム系消毒剤/強化ベンザルコニウム系消毒剤/強化ないよき。[錆が発生する恐れがある。] ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・活動である。 ・活動である場合は再度、3)からやり直すこと。 ・一次を操させること。 ・一次を操させること。 ・一次を操させること。 ・一次を強力を表現がある。 ・一次変数がある。 ・一次変数があること。「減菌バッグな劣化する恐れがある。」 ・一次変数があること。「表現である。」・一次染される可能性にさらされたもの(落とす、たる。」・一次染される可能性にさらされる等)は再減菌を行うこと。「再汚染の恐れがある。」・一次変数がある。。	٤.	
消毒剤/塩化ベンザルコニウム系消毒剤/強酸性水など)は使用しないこと。[錆が発生する恐れがある。] ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ に注意すること。 ・ 滅菌バッグは紫外線を使用するみとは「滅菌バッグは紫外線を使用すること。[滅菌バッグは紫外線を使用すること。[滅菌バッグは紫外線を使用すること。[滅菌バッグは紫外線を使用すること。[滅菌バッグは紫外線を使用すること。[滅菌バッグは紫外線を使用すること。[減菌バッグは紫外線を使用すること。[減菌バッグは紫外線を使用すること。[表達して、表達して、表述をは、表述をは、表述をは、表述をは、表述をは、表述をは、表述をは、表述をは		
コウム系消毒剤/強酸性水など)は使用しないこと。[錆が発生する恐れがある。] ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 満菌バッグは紫外線を使用するみとした。 「練菌バッグは紫外線を使用するみと」に減菌バッグが劣化する恐れがある。] ・ 満な場所に保管すること。(次回、使用前に減菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再減菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 減菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。		剤/クロルヘキシジン系
水など)は使用しないこと。[錆が発生する恐れがある。] ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・		消毒剤/塩化ベンザルコ
と。[錆が発生する恐れがある。] ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ 器具同士が接触しないように注意すること。 ・ に注意すること。 ・ に注意すること。 ・ では、		ニウム系消毒剤/強酸性
ある。]		水など)は使用しないこ
ある。]		と。[錆が発生する恐れが
 (1) 水洗 (1) 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 (2) 汚れが残存している場合は再度、3) からやり直すこと。 (3) を換 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 (5) 保管 (6) 保管 (7) 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。 (2) 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) (次回、使用前に滅菌すること。) (次回、使用前に滅菌がッグ等の開封後は速やかに使用すること。 		
 (1) 水洗 (1) 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 (2) 汚れが残存している場合は再度、3) からやり直すこと。 (5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 (6) 保管 (1) 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。 (2) 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) (次回、使用前に滅菌すること。) (次回、使用前に滅菌がッグ等の開封後は速やかに使用すること。 		・ 器具同士が接触しないよ
 4) 水洗 ① 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 ② 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 ⑥ 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。 [滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。] ② 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。 (次回、使用前に滅菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再滅菌を行うこと。 [再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。 		
 ① 精製水を用い超音波洗浄を行うこと。 ② 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 ⑥ 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。 	4) 水洗	・ 器具同士が接触しないよ
を行うこと。 ② 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。	/	
 ② 汚れが残存している場合は再度、3)からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 6) 保管 (1)手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて滅菌後、清潔な場所に保管すること。[滅菌バッグ等に入れて 液菌後、清潔な場所に保管すること。(② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。 		,
は再度、3)からやり直すこと。 5) 乾燥 不織布等のやわらかい布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・ 汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。	-117 - 0	
こと。 ち) 乾燥 不織布等のやわらかい 布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 おり、一次で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 は で は で 水線 を が で が な が ま ま で の に は ま で で の に は ま で の に に は ま で の に は ま で の に に は ま で の に に さ に に に		
5) 乾燥 不織布等のやわらかい 布で水分を拭き取り、充 分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。[滅菌バッグ 第化する恐れがある。] ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) 第すること。) は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。		
不織布等のやわらかい 布で水分を拭き取り、充 分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保 管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) 2 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) 5 洗染される可能性にさら されたもの(落とす、活 れる等)は再滅菌を行う こと。[再汚染の恐れがある。] 1 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
布で水分を拭き取り、充分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅菌すること。) ② 非研技を選問を選問を表したもの(落とす、活力を表して) は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。	7 1 = 7715	
分乾燥させること。 6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。[滅菌バッグ等に入れて 濱ヶ子のこと。[滅菌バッグが劣化する恐れがある。] ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅菌すること。) おの等)は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。		
6) 保管 ① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅菌すること。) ② は再滅菌を行うこと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。		
① 手術日が近い場合 滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅菌すること。) ・		・ 滅菌バッグは紫外線を使
滅菌バッグ等に入れて 滅菌後、清潔な場所に保 管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) ・ 汚染される可能性にさら されたもの(落とす、濡 れる等)は再滅菌を行う こと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
滅菌後、清潔な場所に保管すること。 ② 手術日が長期間空く場合清潔な場所に保管すること。(次回、使用前に滅菌すること。) ・ 活動すること。) ・ 減菌バッグ等の開封後は速やかに使用すること。		
管すること。 ② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) ・ 汚染される可能性にさら されたもの(落とす、濡 れる等)は再滅菌を行う こと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
② 手術日が長期間空く場合 清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) ・ 汚染される可能性にさら されたもの(落とす、濡 れる等)は再滅菌を行う こと。[再汚染の恐れがあ る。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
清潔な場所に保管する こと。(次回、使用前に滅 菌すること。) されたもの(落とす、濡 れる等)は再滅菌を行う こと。[再汚染の恐れがあ る。] ・滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
こと。(次回、使用前に滅		
菌すること。) こと。[再汚染の恐れがある。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
る。] ・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。		
・ 滅菌バッグ等の開封後は 速やかに使用すること。	困りること。)	
速やかに使用すること。		
	7) 冰苗	
7	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	【使用刀本寺】参照	水は定期的に交換し、内 部を清潔に保つこと。「汚
111 = 111 0111 111 = 0 211		111 = 111 0111 11
		れた水等を用いてオート
		クレーブ滅菌を行った場
		合、滅菌した本器具に錆
		が発生する恐れがある。]
・ オートクレーブ滅菌器の		オートクレーブ滅菌器の
1		水には硬度の高い水を使
用しないこと。[滅菌した		本器具に錆が発生する恐

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 製造販売業者

京セラメディカル株式会社 TEL: 0120-923725

添付文書管理番号: KC2-DA-4-80N019-01